

# ラダー養成合宿@保津川報告書

期間：2007 . 6.16 ~ 17

場所：JR 保津駅付近

目的：夏に向けてラダーを増やす。また 1 回生に川に親しんでもらう。

参加者

合計 11 人

CL：松本幹 (3)

SL：笠井高人(3)

会計：溝口昇太(2)

救急：杉原浩太(3)

参加者：中安祐貴(3)

橋崎裕幸(2)

日下雄介(2)

岩本唯(1) \* 16 日のみ

増田健人(3)

奥田健斗(1)

米田祐一(1)

航下メンバー

第一航下：笠井 橋崎 日下 増田 岩本

第二航下：溝口 笠井 岩本 奥田 米田

第三航下：笠井 杉原 中安 奥田 米田

第四航下：溝口 松本 杉原 日下 中安

感想

松本幹

天候に惑わされまくった合宿になってしまった。入梅した直後だったために天気予報は外れまくりで、前日でも予報をはずしていました。そのために合宿をやるのか中止するのかの判断が前日の昼過ぎになり、参加者は予定の半分程で新入生にいたっては三分の一程になってしまった。そして、雨降ることを考慮して馬堀ベースから保津峡ベースに変更したのだが、これも裏目に出た。曇り時々雨の予報は完全にはずれて、太陽さえ顔を出していた。加えて夜の出来事と、運の無さに泣けそうだった。

しかし幸いなことに第一航下以外は問題なく航下でき、また第四航下では溝口が笠井などの助けなく自分の力でラダーをやりきったのは大きな収穫だったと思う。

今回 CL として至らないこともあり、参加してくれたみんなには迷惑をかけてしまったことも多かったと思う。この経験を次回から生かしていきたい。

笠井高人

約1ヶ月ぶりの保津川は梅雨の影響もあり、調度よい増水量で我々を迎えてくれた。実はこの梅雨のせいで参加者が激減する羽目になったのだが、まあ仕方が無い。思えば去年1年間は何の因果かほぼ全ての川合宿が濁水に見舞われた。そのこともあり合宿が始まる前からちょっとウキウキした気分だった。そして、この軽いノリがやはり裏目に出た。

#### ラップ初体験!!

今までさほど注意をしていなかったタクローの瀬の終わりの例の岩。もう頭が真っ白になった。ホントに動けないんですね。あんまり良く覚えてないですけど、浸水したためラフトの中においてあるものがプカプカと浮いてきて初めて「ホントにやばいっ!!」と感じた。でも、ラフトは動かず……。遊船が来ないかずっと不安だった。幸いこなかったが、もし来てたら轢かれていたのだろうか？考えるだけでも恐ろしい。メンバーも新入生2人、体調不良者1人、そしてボブだった為、頼れる者はいなかった。もしかすると現場で事の大きさをわかっていたのは自分だけだったかもしれない。新入生には初ラフトでラップを経験させ、またラダーの自分がパニックで怒鳴ってコマンドを出したため少々恐怖を与えてしまったかもしれない。大きな反省材料である。なんとかラップからは回復できたが、あまり褒められた方法ではなかった。本当に身体をはった。後から考えても良くあんな事やったなと自分に感心してしまう。

今回の合宿でラダーは複数いるのが望ましいということをあらためて感じさせられた。また有事の対処法を日頃から繰り返し確認する必要があると思った。そのほかの事に関しては特に問題は無かったように思う。これからは天気の判断は前日にしましょう。

溝口昇太

未定出

橋崎裕幸

未定出

杉原浩太

未定出

日下雄介

今回は天気も水位も良くなかなかよかったと思います。しかし一回生が長時間ほたらかしになっていたなどした様なので、新入生がもっと楽しめるように心掛けることが大切だと思いました。

増田健人

とても楽しい合宿でした！もっといっぱい行ったらもっと面白いのかなと思いました！！

岩本唯

初めての川合宿でしたが、とてもスリリングで楽しかったです！本当は結構危ない状況だったらしいですが…。脳天気ですいません。しかし川は山などとは違ってチームプレーなので、チームワークが大切だと今回の経験でつくづく実感しました。自分は注意力が散漫しがちなので、これ以降はその点をより意識したい。川以外にも言えることですが、これからは気を引きしめて合宿に臨みたいと思います。

米田祐一

ぼくにとってこの保津川合宿が探検部での初めての合宿でした。更にラフティングも初体験でした。ラフティングに関しては、先輩達がライフジャケットの使い方から川の流れの読み方、ボートの動かし方など基本的な事を教えてくれたので、楽しく川を下ることができました。合宿全般に関してもキャンプにおける仕事のこなし方のアドバイスなどがあり、行動しやすかったです。

奥田健斗

未定出